

8月の活動 協働の森の下草刈り・炭焼きは大成功でありました

7月24日(土)～7月25日(日) 炭焼き本番 天候 晴れ 参加者 11名 宿泊者 6名

早朝6時に炭窯の燃材に着火しました。折よく、焚口に向けて東風が吹き続けていたことも幸いし、順調に熱は窯内に入り込んでいきました。煙突からも白い煙がすぐに立ち上りました。焚口で木切れを絶やさず燃やし、長時間「うちわ」で扇ぐ作業にも力が入ります。



2時間ほどで自然に熱は窯内に吸い込まれこれで、一安心です。火の回りもよく、10:30には焚口を3分の1ほどに狭めました。

そして、焚口付近の炭材が炭化しつつあることを確認し、13:00にはさらに焚口を狭める事にしました。

この頃には煙の色は青色に変化していました。あとはのんびりです。

昼食は恒例の桜田さんカレー。夕食はジンギスカンで親睦を図りました。

宿泊組はたき火を囲み、アルコールをたしなみ、深夜まで語り……………。

そして、翌朝の6:00に煙は透明となり煙突を抜いて、窯を完全に密閉し翌週の窯出しを楽しみに解散となりました。



8月1日(日) ①弁華別協働の森の会 下草刈り不要侵入木の駆除作業 天候 晴れ 参加者 15名

急斜面での不要侵入木の駆除作業も少しは慣れ、手のこ、刈払い機での作業は今年度は終了となる。

②岡田庭に移動し、炭の窯出しを実施。参加者 13名

今年の出来具合は間違いないとの予測通り、大変立派な「極上木炭」が出来上がりました。



今年は雨が少なく水不足で毎日、畑に水撒きでしたが植物の成長には程遠い事になり成長が遅くなっています。

山間部の土地 100 坪程度の畑を地主さんと共同で作付けしています。作物はトマト、とうきび、豆類、ナス、キュウリ、馬鈴薯などを毎年作付けしています。

農家の人の指導を受けて、3 月頃より苗づくりをして、畑の土、作付け時期、管理の問題点などを解決して収穫までの管理が非常に困難に思っています。

作付けの時期に合った苗づくり、その後の育成に伴う肥料の時期、草刈、草取り、動物の被害特にシカ、アライグマ、キツネ、カラス等により作物を食い荒らされます。

そのための対策としてビニール製の網(高さ2メートル)を周囲に張り廻らしてその上1メートルにロープを張り、シカの侵入を防護していましたが、支柱を倒して網を破って侵入して馬鈴薯の葉芋を掘り荒らして全滅でした。このシカは冬の間、畑の土手に自然の菊芋を掘って食べる事を知り馬鈴薯を掘って食べたようです。



アライグマは網の下に穴を掘って侵入して、カラスはトマトが赤くなり、トウキビの実を収穫する前日に食べ荒らされ、収穫が減収して落胆します。

畑の周囲にはシカ、アライグマ、キツネ、カラス、小鳥の餌場になっているようです。

被害を受けない対策を考えて、家庭菜園では資金を遣わないで収穫を楽しむための作付けをしましょう。

9月 5日(日)

9月の活動案内

内容 弁華別協働の森の会

「モニタリング」サイトおよび苗畑(林間苗圃)の生育状況調査

集合場所と時間 山田氏倉庫前 8:45 土取り場に9:00

持ち物 飲み物 午前で終了

9月26日(日)

内容 140年の森もしくは山田山林の林道整備

および「キノコの観察会」 午前で終了

集合場所と時間 山田氏倉庫前に9:00 持ち物 手鎌・刈払い機・腰道具 飲み物



編集後記

ようやく暑かった夏も終わり、秋が訪れようとしています。

一日一日と日の暮れるのが早くなります。

合わせて、ちょっと1杯も当然ですが早くなります。

ありがたいことです。……………「なんでやねん」

コロナの収束はまだまだ先が見えません。油断せず、感染予防を徹底し日々をお過ごしください。

by 岡田